

井上璠枝 あらい、國學者。天保十年（二月）一日石見國生れ、明治二十八年九月十一日歿（八三元一九〇五）。通稱隆藏。津和野藩代との針醫の家  
に生れた。少壯大國隆正に就き國學を修むる。幕末國事を奔走。慶應  
四年即位式考定掛拜命、のち行政官吏生、明治四年大政官權少外史、  
更に修史局に轉じ、十四年統計院御用掛、二十八年龜井家臨時用掛と  
なり同家家記を編纂。

著述に統計學史上の古典「大日本古來人口考」（明治二十七年）統計  
學雜誌』發表（あり）、のち『日本人口統計史』（ペイ・マイエツト、  
ガレット・ドロパーズ合著・高橋梵仙編、昭和十七年（二月）二十日大東  
出版社「大東名著選」）に收録。

